

**セミナーで解説していない
エネルギー系の評価方法解説資料
(セミナー特典)**

レイキの評価（ヒビキ・病腺）

レイキをすると、施術者はその**手に相手の反応を感じる**ことができます。
これを**ヒビキ**とか**病腺（びょうせん）**と呼びます。

この**ヒビキ**を感じるということは、たしかに相手がそこにて、その身体から何らかの反応があるということです。

ピリピリジンジンとしびれたような感覚や、熱いという感覚、あるいは痛みを感じることもあります。

遠隔ヒーリングをした時も、対面でレイキをした時と同様にヒビキを感じます。

戦時中の話ですが、遠い戦場にいる夫に対して遠隔ヒーリングを行って、夫の無事を確認していた、という話があります。

遠隔ヒーリングのヒビキは微妙ですが、慣れれば対面でのレイキと同様に、その反応を感じ取ることができます。

レイキの評価

- 「温かい」「熱い」「冷たい」などの**温度の違い**を感じることがあります。
また、「ピリピリ」「ジリジリ」など、**まるでしびれたような、あるいは微細な振動のような感じ**を感じたりします。
- あるいは、「ピクピク」「うねうね」というような**脈動感**もあります。
- そして、「チクチク」「ズキンズキン」というような**痛み**を感じることもあります。
- これらを「**病腺（びょうせん）**」とか、「**ヒビキ**」と言います。
- 温熱やしびれ、脈動感などは、だいたい手の平に感じます。
痛みは、手の平だけでなく、手の甲や、腕をずっと上って肘から肩にかけて感じることもあります。
- レイキを受けた時の感覚が人それぞれなのに対して、この病腺の種類は、**施術者によって違うことがありません**。
そして、これは手を当てている時だけの感覚で、**手を離すとすぐに収まります**。

エネルギーを送る場所の見つけ方

- 病気の場合、**患部**と**病根（びょうこん）**があります。
痛風の例では、患部は痛い足の指です。
- しかし、その痛みの原因となっている何かがあり、それを作り出しているどこかがあります。
つまり、症状は出ていないけれど、**病気を引き起こす原因となる身体の部分**がある。それを**病根**と呼びます。
- たとえば腎臓病の場合、むくみなどの症状が表れますが、むくんだ足や顔は患部です。病根は、何の症状もない腎臓だと言えます。
このように、**症状がないために見逃されがちな本当の原因箇所を見つけ、そこに手を当てることで、効果的にレイキをする上で重要になる**のです。
- この病根を探すのに、「**病腺（びょうせん）**」が役立ちます。
簡単に言えば**受け手からの反応**になります。
その反応を読み取ることによって病根を見つけ、そこに集中的に手を当てることで、効果的にレイキを行うことができるのです。

エネルギーを送る場所の見つけ方

- **病根**というと、直接的には**臓器**を差すことが多いです。
特に**腎臓や肝臓など、沈黙の臓器は要注意**です。肝腎要（かんじんかなめ）という言葉があるように、毒素を排出する機能がある腎臓と肝臓は、疲労しやすい臓器でもあるので、注意する必要があります。
- 一方で、**背骨**にレイキをするという考え方もあります。
レイキが始まった当初は、背骨を中心にレイキをしていたという話もあります。これは、**神経**を重視していると考えられますし、氣（靈氣）の流れ道である**経絡（けいらく）**を重視しているとも言えます。
実際、背骨に病腺が出ることはあり、**効果的にレイキをするポジション**と考えられています。